

令和2年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	131	地域ごとの特色を生かしたまちなみをつくる
施策の目標	地域ごとに、区民が愛着を感じることができる個性と風格のあるまちなみが広がり、区外からもその美しいまちなみを楽しむために多くの人が訪れています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区のまちなみが美しい」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					47.0%					52.0%
実績	42.1%									
指標名	電線類の地中化整備延長									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					7,955m					8,670m
実績	6,915m									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
地域ごとの特色を活かし、区民が愛着を感じることができるまちなみとするためには、景観に関する区民の更なる意識の向上と、行政による誘導が必要である。すみだ景観フォーラム等による啓発活動や、景観行政団体として景観まちづくりを推進しているが、良好な景観形成を図るためには、継続して取り組む必要がある。	H29	13,503
	H30	10,395
	R1	16,427

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	亀沢地区を景観形成重点地区に指定するなど、地域の特色を生かした景観形成につながっていることから、引き続き取り組みを進める。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
地域ごとの特色を活かしたまちなみを創出するため、継続して取り組む必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
魅力的な景観づくりに向け、区民や事業者とともに良好な景観創出のためのルールづくりの誘導・支援を行っていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	景観まちづくり推進事業	1,010	6,990	8,000	17.0%	現状維持
					20.6%	令和元年度
2	都市景観形成促進事業	15,417	2,621	18,038	46.00%	改善・見直しのうえ継続
					-	令和元年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだ景観フォーラムにおけるシンポジウム等イベント及び実行委員会実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		15	R7	目 標	15	15	15	15
				実 績	15	15	17	14
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	15	15	15	15	15	15
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	すみだ景観フォーラムは、区民自らが景観について自ら考える契機を与えることを目的とする組織体である。シンポジウム等イベント及びその準備を行う実行委員会の実施回数を活動指標とする。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	景観アドバイザー協議割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
20		R7	目 標	-	16	16.5	17	
			実 績	15.5	11.8	15.5	20.6	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		17.5	18	18.5	19	19.5	20	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
景観に関する専門家(景観アドバイザー)のアドバイスを受けた建築物等を増加させることで、地域にふさわしい景観形成を促進する。目標値は、過去の実績値を参考に設定している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	すみだ景観フォーラムの継続により、区民の景観に関する意識向上が図られつつある。また、景観アドバイザー制度の積極的な利用を案内することで、景観に配慮された建築物等が確実に増えている。

課題・問題点
<p>亀沢地区については、地域住民との協働による景観まちづくりが進み、平成29年に景観計画の変更(景観形成重点地区の指定)を行った。窓口での案内配布や町会説明などを通じて周知を図っているが、地域に浸透させるために継続して周知を行う必要がある。</p> <p>すみだ景観フォーラムは設置から13年目を迎え、様々な企画を通じて、区民の景観に関する意識向上が図られつつある。近年は実行委員会の運営の安定化に向けた活動を積極的に行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの企画の運営が困難である。今後も活動を継続していくための課題としてとらえ、創意工夫を行いながら、企画を実施する必要がある。</p>

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	まちかどアートのメンテナンス数(累計)				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6	R1	目標	3	4	5	6
				実績	3	4	5	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標							
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「まちかどアート」については、設置から20年以上が経過し作品の一部に経年劣化が見られることから、平成26年度から年1作品ずつ(計6作品)メンテナンスを実施する計画としている。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	「墨田区のみちなみが美しい」と思う区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
52		R7	目標	-	44.0	45.0	46.0	
			実績	42.1	-	-	-	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0		
実績		-	-	-	-	-		
指標の選定理由及び目標値の理由								
良好な景観形成に向けた取組みに対し、区民がどのように実感しているかを示す指標を成果指標とする。目標値は過去の区民アンケートの増加率等を参考にした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	「まちかどアート」の維持管理を計画的に実施することにより、地域に親しまれるシンボルとして継承され、都市景観の向上に寄与している。今後は、公共サインも含め、定期的なメンテナンスを行うことにより、適切な維持保全に努める。

課題・問題点
「両国駅東口擁壁修景画」は制作からすでに30年が経過しており、部分修復を行ってきたものの劣化が著しい。擁壁は面積が広く、みちなみの景観に与える影響が大きいことから、早急な対応が求められる。